

令和5年度
二戸市立福岡中学校
学校だより 第5号

永遠の躍進

発行日：R05.05.30
発行者：校長 筒井 裕一
二戸市福岡字下川又 22-1
☎ 23-3325

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で実践力のある生徒【実践力】

中学生らしい家庭学習をめざして ～その1～

中学校に進むと、例えば「児童会と生徒会」「運動会と体育祭」のように、小学校のころに比べて様々なものがグレードアップします。なのに、家庭学習だけは小学校の時のままという生徒が多く見受けられます。どうしてなのでしょう？

その理由は様々考えられます。家庭学習を人と比べたことがないから、進化させる必要性を感じていないから、内容よりも取組時間の長短で評価されてきたから、などなどいろいろありそうです。理由はいろいろあるにせよ、**中学生の家庭学習は小学校のころよりもグレードアップした方がいい、いや、小学生のままでいいはずがない**、という意見には多くの方に共感していただけたと思います。

では、**中学生らしい家庭学習**とは、どういうものなのでしょう？

我々は中学生らしい家庭学習を「**明確な目的意識を持って、家庭で取り組む学習**」と捉えています。つまり、

- ① 何を目標として、このことに取り組んでいるのかを自分で説明できること
- ② その目的と取組内容が合致していること

この2つを満たしていれば「中学生らしい家庭学習」だと判断します。その上で、①の精度を上げていくことで、**中学生らしい家庭学習の質を高めていこう**と考えています。

ここで言う「①の精度を上げる」とは、例えば「漢字を覚えるために漢字練習をしている」という程度のレベルから「記述式問題の解答の際、漢字が思い出せないために無駄な時間がかかっていた。漢字練習をすることで、文章で解答する際の時間短縮を図りたい」レベルに引き上げることを意味します。

では、そのために何をするのか。今回はここについての我々の考えを紹介します。

小中交流会 ～小学校の先生方が1年生を見にいらっしやいました～

5月29日(月)に、小学校の先生方が1年生の様子を見に、本校にいらっしやいました。懐かしい先生方に再会した1年生の表情は「うれし、恥ずかし」そのもの。

授業参観の交流会では小学校の先生方から「楽しそうに授業を受けているのが印象的」「予想していたよりも発言する子が多かった」といった感想が寄せられました。

1年生にとってこの2カ月は、小学校と環境が大きく変わり、確かに大変な日々だったと思います。それを乗り越え、小学校時代とは違った自分になろうとしていることを交流会を通して感じました。

